とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	・就業規則にて「職員の人権の尊重」について明記されており、採用、昇格等あらゆる面で差別無く、公平に対応している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	・ハラスメントの防止について就業規則に明記されている。2020年6月に「ハラスメント防止に向けた取組方針」を策定し、ハラスメントに関する相談窓口を設置している。また、ハラスメントに関する勉強会を定期的に実施することに対し、理事長が積極的に関与（DVDメッセージの配信）しており、役職員全員がハラスメント防止に関する意識の醸成を図っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	・ノー残業デー（週1回）の実施、及び必要に応じ時差出勤等フレキシブルな勤務時間を認容し、長時間労働を防止している。また、連続休暇、リフレッシュ休暇、アニバーサリー（記念日）休暇の取得を推奨している。 ・2018年5月より、労働時間管理をシステム化し、役職員の労働時間の管理を明確にすることで長時間労働を防止している。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	・現在当金庫において外国人労働者の登用は無いが、取引先の外国人従業員等より取引申込を受けた場合でも、差別等することなく公平な取扱を行っている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	・総務部長を委員長とする衛生委員会を設置し、役職員の労働環境改善に向けた協議を毎月開催している。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	・全事業所を対象にストレスチェックを年1回実施し、必要に応じ医師の診察を受ける等の体制となっている。また、上席者との定期的な面談のほか、各種相談窓口であるヘルプラインの設置等により、職員1人1人のメンタルヘルス不調を未然に防ぐような体制整備を行っている。			3													
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定段階3（最上位・厚生労働省）、及び「男女生き活き企業認定」（栃木県）、「とちぎ女性活躍応援団」（栃木県）の登録を受けるなど、各種取組を実施している。 【予定】2021年度「くるみん認定」取得申請。（厚生労働省）					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	・「とちしん健康経営宣言」を行い、健康経営の取組を実施している。 「健康経営優良法人2021」（経済産業省）、「とちぎ健康経営事業所認定」（栃木県）を受けている。			3					8									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	・内部・外部研修や勉強会等を積極的に実施。（下記はその一例） ・「とちしん未来塾」：当金庫理事長を講師とし、職員向けにゼミ形式の研修を月に1回開催している。（2020年度はコロナウイルスの影響で中止） ・「こたつで相談事例研究会」：課題解決型の営業活動ができるようになることを企図し、社内で選抜されたメンバーがお客様の課題解決について、お取引先企業の問題点と解決策を話し合い発表する。				4				8	9								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	・労働契約法、パートタイム・有期雇用労働法等各種法令の内容を理解し、同一労働同一賃金の原則に沿った対応を行っている。								8.5		10.2 10.3							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	・ペーパーレス化（貸出稟議書及び保管書類の電子化、通帳レスシステムの導入、社内会議資料のペーパーレス化）を推進し、廃棄物の削減に努めている。											11.6	12.3 12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	・店舗照明のLED化を順次導入している。 ・クリーンエネルギー利用促進のための融資商品（リフォームプラン・エコ）の取扱を行っている。							7.3						13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	・クールビズ、ウォームビズの実施により排出エネルギーの削減に努めている。 ・冷暖房（ボイラー）設備を順次更新している。							7.2 7.3					12.4	13.3				

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当 環境	社会	経済	期待レベル	具体的な取組（県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14	環境	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	・各施設内の有害物質の有無を把握、管理し、設備の更新を順次実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	・店舗施設等において、環境に配慮した資材等を活用し、生物多様性に配慮するよう努めている。						6.6									15		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	事業形態上該当しない						6.4 6.6											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用	事業形態上該当しない			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用	・環境保全に資するべく、地域の河川清掃活動に定期的に参加し、自社ホームページ等で開示している。												12.6					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用	・太陽光発電システムを設置している（雀宮支店） ・リフォームプラン・エコ（融資商品）の取扱により、エコ関連設備の推進を通じてクリーンエネルギーの普及に努めている。							7.2						13				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用	事業形態上該当しない												12.2	13	14	15		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	・事業運営上発生する廃棄物について適切に分別し、3Rの推進に資するべく対応している。						6.3					11.6	12 12.5	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・コンプライアンス諸規程にて、優越的地位の濫用の禁止や背任・特別背任等、不祥事件防止について明文化すると共に、コンプライアンスプログラムを作成し、定期的に内部研修を実施する等、教育体制の充実を図っている。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・コンプライアンス諸規程、インサイダー取引防止規程にて、不公正な取引を明示すると共に、定期的に内部研修を実施する等、教育体制の充実を図っている。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	・新商品やサービス開発の際には、適宜専門家のリーガルチェックを受ける等、適切に対処している。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	・「とちしんプライバシーポリシー」を公表し、個人情報保護基本規程等の関連規程を策定、適切に管理している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用	事業形態上該当しない																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用	・2021年度より、「お客様の営業部長運動」と題し、コロナショックからの脱却支援を一義的な目的とし、お客様の経営上の課題や悩み等の各種情報より、当金庫及び必要に応じ外部機関との連携を含めた適時適切な支援を行うことで、改めてお客様との共存共栄の関係を築くべく活動する。 【予定】2021年「パートナーシップ構築宣言」（中小企業庁）の公表					5			8		10		12	13	14	15	16	17

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	・安全性確保の観点から、サイバーセキュリティ管理体制の整備が重要と考え、サイバーセキュリティ管理規程を策定し、適切な管理体制を構築している。			3.9									12.4					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	・お客様からの要望、苦情等について、「お客様の声」（報告書）としてとりまとめ、全役職員が閲覧できるようになっている。 ・好事例については「おもてなしの心実行委員会発表会」として、年に1度、全役職員が集まり、ロールプレイング形式で事例を共有している。（2019年度、2020年度はコロナウイルスの影響で中止）									9								
30	製品・サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用	・太陽光発電融資の推進や、クリーンエネルギー利用促進のための融資商品（リフォームプラン・エコ）により、環境に配慮した商品・サービスを取扱っている。						6						12	13	14	15		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	・本部内に「ビジネスパートナーグループ」を設置し、お客様の事業承継問題やビジネスマッチング、創業支援による雇用の創出等について、各種相談会等の開催をはじめ、本部と営業店、外部専門機関等との連携により社会課題の解決、地域経済の活性化につなげるべく活動している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	・地域社会の発展に貢献することを経営理念とし、地域のお客様への持続的な支援に取り組む。足下ではコロナショックの影響に苦しむお客様への資金繰り支援を最優先に、適時適切な取組を行う。 ・「とちしん経済クラブ」「パートナーズとちぎ」「とちしんカトレアの会」等、地域のお客様のネットワーク化を推進し共存共栄を図っている。				4					9		11	12		14	15		17
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	・地域主催のボランティア活動（清掃活動、献血、夏祭り等各種行事）に積極的に参加している。また、2020年には新型コロナウイルス感染症に伴う医療従事者支援の寄付金やマスクの贈呈を行った。 ・中学生の職場見学、職場体験学習を継続して受け入れている。 ・栃木のプロスポーツへの「応援金サービス」の取組を県内金融機関と共同で実施している。（栃木SC、宇都宮ブリッツェン、宇都宮ブレックス等）				4							11			14	15		17
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用	・当金庫本店所在地である栃木市と、地方創生に関する包括連携協定を締結し、地域経済の活性化等を促進すべく緊密な連携を図っている。その一例として、空き家対策に伴う「栃木市空き家等改善資金」や、歴史的建造物を保存するための改築資金「とちしん伝建地区保存支援資金」等、地域資源の積極的利用に資するべく活動している。								8	9		11	12	13					
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		○		基本	・コンプライアンス諸規程を定め、法令順守について明示している。また、コンプライアンスプログラムに基づき、定期的にコンプライアンス研修を実施し、法令順守に対する役職員の意識向上を図っている。																16	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	・経営理念、倫理綱領、中期経営計画等について、それぞれ明文化し社内に共有している。また、中期経営計画や経営目標等については、代表理事より職員に説明し、目標や計画の策定のねらい、理由を明確にし、経営陣と現場職員との意思の疎通を図っている。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用	・信用金庫は地域金融システムの安定化を図る役割を担う金融機関であり、より高いレベルのコンプライアンスが求められる。当金庫では「コンプライアンス顧客保護等管理委員会」を毎月開催し、組織態勢の整備拡充、営業店等の実態把握（苦情・提案の受付及び対応等）、再発防止策・改善計画の検討を主な検討事項とし、法令遵守を経営の最重要課題の一つとしている。															16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用	・当金庫の最高意思決定機関である「総代会」にて選出された理事全員により構成され、経営意思決定機関である「理事会」の下、中長期及び直面する様々な課題の解決策を協議、検討するための機関として、理事長を委員長とする「経営企画委員会」を設置し、経営管理態勢の構築に努めている。															16	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用	・当金庫の各業務において発生する様々なリスクを、商品・業務・組織を超えて統合的に把握し、当金庫の意思決定に必要な情報を分析する組織として「リスク管理委員会」を設置し、リスク情報に基づく業務運営方針の策定、リスク管理態勢の高度化を図っている。															16	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用	・信用金庫は地域との密接な関係で成り立っており、CSR（企業の社会的責任）を経営上の重要な課題と捉えている。地域貢献活動や環境への配慮はもちろんのこと、コンプライアンス（法令遵守）の徹底に努め、社会的責任を果たすべく日々活動している。															16	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用	・当金庫の活動について、財務面では年2回（3月末、9月末）開示しているほか、ディスクロージャー誌にて非財務面を含めた当金庫の活動内容について開示するなど、適切に対応している。															16	17

様式3号

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当 環境	社会	経済	期待レベル	具体的な取組（県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	・業務継続基本計画（BCP)を策定済み。2020年度には、台風による水害等の自然災害や新型コロナウイルス感染症に伴う対応を追加し、非常時における行動について明確化した。特に、台風の水害については2019年の台風19号により、当金庫の一部店舗も浸水被害を受けた。その経験から実効性の高い計画を策定するとともに、その内容を適宜見直している。								9			11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用	・中小企業経営者の高齢化等に伴う事業承継問題を重要な社会課題と捉え、栃木県事業引継ぎ支援センター等の外部機関と連携し、事業承継相談会を開催する等、お客様の事業承継問題について積極的に支援を行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																						
2																						
3																						
4																						

【記載留意事項】
・ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
（ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングの整数はＳＤＧｓのゴール（例：７）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度　など）